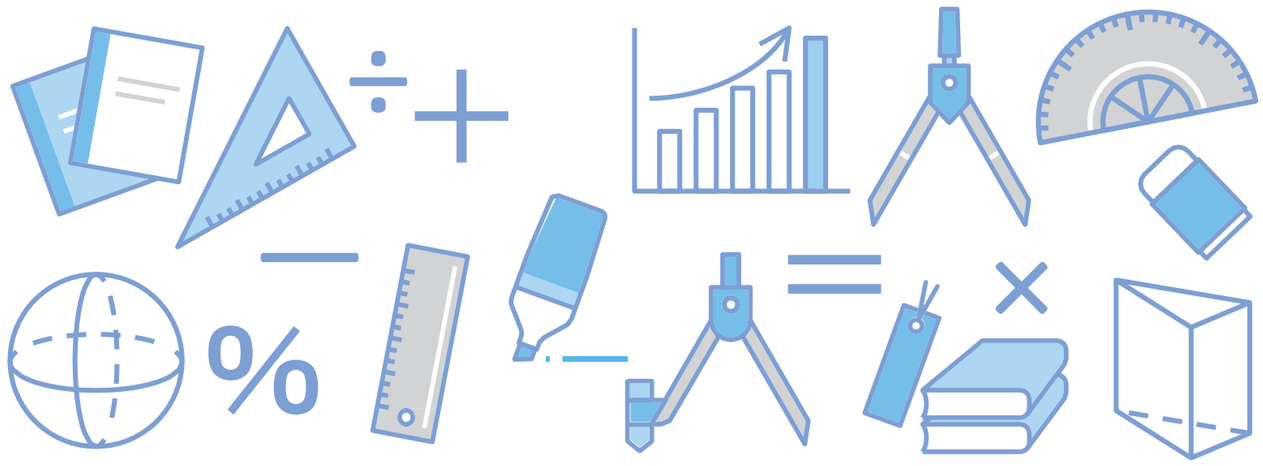


小学校算数の指導改善に向けた

教師の学び【別冊】

～　補充学習や個別支援に生かす３つのポイント～



岡山県教育委員会　令和８年４月

本資料について



このリーフレットは、県教委が作成した小学校算数指導資料に示す「３つのポイント」を、補充学習や個別支援において効果的に生かすための資料です。「授業でこうしているから、補充学習でもこうする」―その共通理解を図るためのものです。

授業では、こんな学びを大切にしています！～３つのポイント～

①誤りを学びにつなげます

誤りは「分かっていない」ということではなく、**どこで、どう考えたのかを知る大事な手がかり**です。
よくある誤りを取り上げ、考え直すことで理解を深めます。

②学習のつながりを大切にします

算数は、前の学年で学んだ内容、前の単元の学習の上に積み重なっています。
今の学習が、これまでのどの学びとつながっているかを意識します。

③抽象と具体を行き来して考えま

具体的な場面や操作と言葉・式を行き来して、理解を深めます。
「つまり…」とまとめたり、「例えば…」と説明したりできるようになります。

補充学習・個別支援で意識してほしいポイントと声掛け例

すぐに答えや解き方を教えず、「どこで、どう考えたか」を確かめる。

〈望ましくない支援例〉
・「違う」「こうする」と正解を示す。
・誤答を消させて、正解を書かせる。

つまずきが見られたときは、前の学年・前の単元に戻る。

〈望ましくない支援例〉
・同じ問題を何度も繰り返して、覚えさせる。
・解き方だけ教える。

教科書、ノート、図、具体物などを用意し、児童が説明しやすくする。

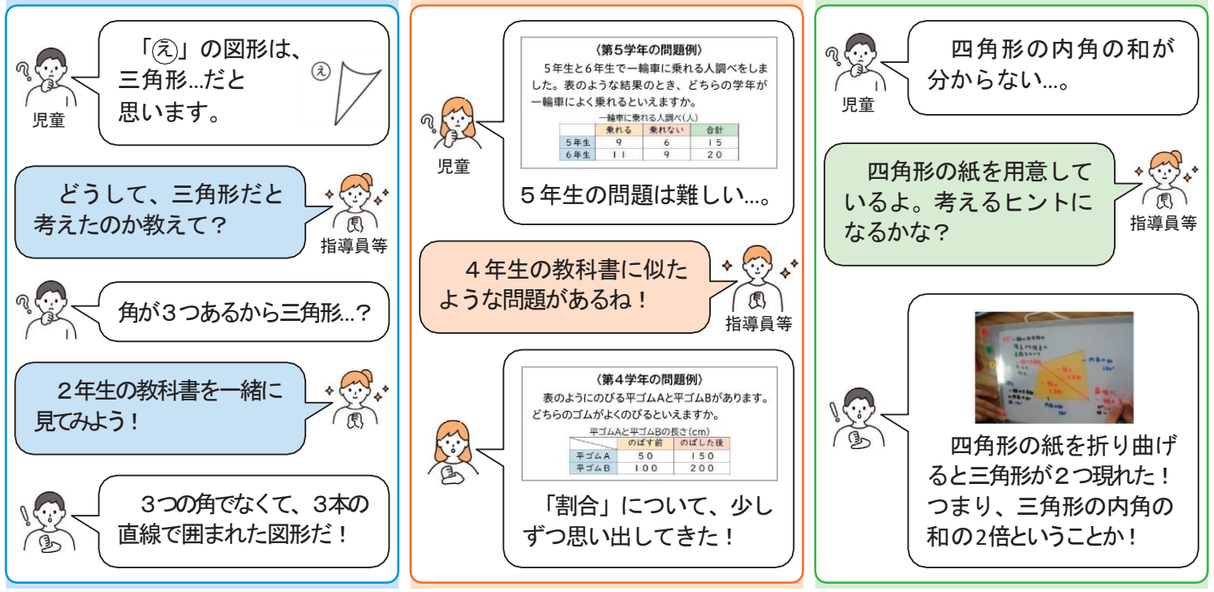
〈望ましくない支援例〉
・式や途中式だけを書かせて終わる。
・児童が説明する機会を全く設定しない。

「どこまで考えて、止まったのかな？」
「どうして、そう考えたのか教えて？」
「この考え方、前にも見たことある？」

「前の学年のこの学習、覚えている？」
「この問題、前の○○と似ていない？」
「ここまで戻ると、分かるかもしれないね」

「図にすると、どう見えるかな？」
「一度、数字タイルを動かしてみよう」
「つまり、どんなことが言えそう？」

具体的な支援のイメージ



支援に困ったときは

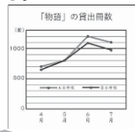
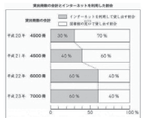
補充学習や個別支援を進める中で、**「どこまで戻ればよいか」「どの内容が土台になっているか」**迷うことがあるかもしれません。そのようなときは、次頁の「小学校算数の系統一覧」を見てください。
今の学習が、「どの学年・どの内容とつながっているか」「どこに戻って支援すると理解につながりやすいか」を確認しながら、支援を進めましょう。

付録：小学校算数の系統一覧～つまずきに応じて、支援をさかのぼるために～

前頁で示した「誤り」「つながり」「抽象と具体の行き来」の視点を意識しつつ、右の手順で系統一覧を活用することで、授業と同じ方向を向いた補充学習・個別支援につながります。

①児童がどの内容でつまずいているかを確認する
②同じ内容が扱われている前の学年・単元を探す
③教科書・ノート・具体物等を用いて支援する

小学校算数の系統一覧（詳細については、各学校で使用している教科書等で確認してください。）

	数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用
第一学年	・8はいくつといくつ　など ・順番、数の大小、数直線、10、20、30…　など ・8＋7、14＋7、5－3、15－2、12－4　など	・似ている形を考える など ・三角形の板や棒を使っていろいろな形を作る など	・量や長さ、広さ、高さを比べる　など ・○時、○時半　など ・○時○分　など	・様々な種類の絵や図を整理する、並べる　など 
第二学年	・10、100、1000… $\frac{1}{2}$　など ・32＋14、120＋232、45－20、300－123など ・かけ算九九、12×3　など	・三角形、直角三角形、四角形、正方形、長方形など ・辺、頂点、直角、直線など ・はこの形　など	・1cm、1mm、15cm－4mmなど ・1L、1dL、15L－4dL　など ・1m、1m＝100cm　など ・時刻、時間、午前、午後など ・1時間＝60分　など	・簡単なグラフや表にまとめ、多い、少ないを考えるなど 形 ○ △ □ 数 3 2 2
第三学年	・万、10倍、100倍など ・125×3、0.5＋1.2など ・1236＋2498、125×3など ・8÷2、64÷4、など ・□×3＝24、4÷□＝4、など	・円、中心、半径、球など ・二等辺三角形、正三角形、その角やかき方　など	・距離、道のり、1km　など ・8時40分の30分後は、何時何分か　など ・1分＝60秒　など	・棒グラフと表にまとめて、多い、少ないを考えるなど ・目盛りには、1だけでなく、2や5、10ごとの目盛りもある　など
第四学年	・億、兆、25億の10倍　など ・がい数、四捨五入　など ・63÷21の筆算　など ・0.01の10倍、100倍など ・1.6＋0.935の筆算　など ・400－（100＋50）　など ・3.6×7の筆算　など ・仮分数、帯分数の計算など	・平行四辺形、ひし形、台形　など ・立方体、直方体、平行、垂直、見取り図、展開図　など ・正方形や長方形の面積、1㎠、1㎢　など ・分度器、2直角、4直角など	・伴って変わる二つの量、変化の様子と表や式　など ・折れ線グラフ　など ・5倍というのは、2mを1とみたとき、10mが5にあたるということ　など	・折れ線グラフの特徴　など ※時間がたつとどのように変わるかが分かりやすい。 ※線の傾きに注目すると変わり方が分かる。 
第五学年	・偶数、奇数、約数、倍数など ・4.3×5.6、3.9÷0.6など ・分数を小数で表す　など ・分数のたし算、ひき算など ・通分と約分　など	・合同、多角形、円周率など ・角柱、円柱　など ・三角形、四角形の面積の計算による求め方　など ・立方体、直方体の体積の計算による求め方　など	・比例の関係　など ・時速60km、１a当りの収穫量、１㎢あたりの人口など ・割合（Bを基にしたAの割合、Bの□倍がA）　など ・百分率（％）　など	・円グラフ、帯グラフ　など ・複数の帯グラフの比較など ・平均　など 
第六学年	・分数のかけ算・わり算など ・分数も、整数、小数と同じように計算できる　など ・4a＝b、X－3　など	・拡大図、縮図　など ・線対称、点対称　など ・およその面積（北海道を三角形とみて面積を求める）　など ・円の面積 ・角柱及び円柱の体積	・比例の意味　など ・反比例　など ・比、比の値　など	・ドットプロット、平均値、中央値、最頻値、階級　など ・値　など 